

INFORMATION FROM JAF

●JAFからの公示・お知らせ

注意！！

2017年ライセンスへの更新がお済みでない方にお届けする
JAF Motor Sports誌は、この2 / 3月合併号が最後になります。

3月中旬発行の「4月号」を確実にお届けするために、
2月10日ごろまでにライセンス更新をお済ませください。

※ライセンス更新手続きは、JAFマイページが便利です。詳しくはJAFホームページ (<http://www.jaf.or.jp>) をご参照ください。

2017年全日本ジムカーナ／ダートトライアル選手権統一規則

[公示No.2017-007]

2017年全日本ジムカーナ／ダートトライアル選手権統一規則
を以下の通り定める。

第1章 大会告知

第1条 競技会特別事項

本選手権競技会のオーガナイザーは当該競技会の特別規則に
本統一規則第1章の各項目を明記すること。

また、特別規則の内容は本統一規則の内容に相反したり、ま
た重複しないこと。

○競技会の定義および組織

2017年JAF全日本〔ジムカーナ／ダートトライアル〕選
手権第 戦「〔競技会の名称〕」は、一般社団法人日本自動
車連盟（以下「JAF」という）の公認のもとにFIA国際
モータースポーツ競技規則およびその付則に準拠したJAF
の国内競技規則およびその付則、2017年日本ジムカーナ／ダ
ートトライアル選手権規定、2017年全日本ジムカーナ／ダ
ートトライアル選手権統一規則、スピード行事競技開催規定お
よび本競技会特別規則に従い国内競技として開催される。

○競技会の名称～○開催日程（略）

○競技のタイムスケジュール

1日開催（1Day）	2日開催（2Days）
<ul style="list-style-type: none"> ・ゲートオープン [時刻を記載] ・公開練習（実施の場合は明記） [時刻を記載] ・公式受付（参加確認受付） [時刻を記載] ・公式車両検査 [時刻を記載] ・慣熟走行（歩行） [時刻を記載] ・開会式 [時刻を記載] ・ドライバーズフリーフィン グ [時刻を記載] ・第1ヒート [時刻を記載] ・慣熟走行（歩行） （第1ヒート終了後 分後） ・第2ヒート （第1ヒート終了後 分後） ・表彰式（閉会式） [予定時刻を記載] 	<ul style="list-style-type: none"> 1日目 ・ゲートオープン [時刻を記載] ・公開練習（実施の場合は明記） [時刻を記載] ・公式受付A（参加確認受付） [時刻を記載] ・公式車両検査A [時刻を記載] ・公式車両検査A [時刻を記載] ・車両持出受付 [時刻を記載] ・ゲートクローズ [時刻を記載] 2日目 ・ゲートオープン [時刻を記載] ・公式受付B（参加確認受付） [時刻を記載] ・公式車両検査B [時刻を記載] ・慣熟走行（歩行） [時刻を記載] ・開会式 [時刻を記載] ・ドライバーズフリーフィン グ [時刻を記載] ・第1ヒート [時刻を記載] ・慣熟走行（歩行） （第1ヒート終了後 分後） ・第2ヒート （第1ヒート終了後 分後） ・表彰式（閉会式） [予定時刻を記載]

※公式練習、公式予選等を設ける場合は、その詳細を記載する
こと。

※2日開催の場合、公式受付A（参加確認受付）および公式車
両検査Aを原則とする。但し、第9条車両変更申請は公式受
付B（参加確認受付）を最終とする。

○その他の事項～○諸施設の見取り図

第2条～第33条（略）

2017年全日本レース選手権カレンダーの一部変更について

[公示No.2017-008]

2016年11月30日開催の世界モータースポーツ評議会で決定された2017年F I A国際選手権カレンダーの発表を受け、すでに公示している2017年全日本レース選手権カレンダー（公示No.2016-089）について、開催日程が一部変更となりましたのでお知らせいたします。

スーパーフォーミュラ：

(変更点は下線部分)

No	開催日	競技会の名称	オーガナイザー	格式	開催場所
①	<u>4/21-23</u>	2017年全日本スーパーフォーミュラ選手権第1戦 鈴鹿サーキット	GSS SMSC ㈱モビリティランド	国際	鈴鹿
②	5/26-28	2017年全日本スーパーフォーミュラ選手権第2戦 岡山国際サーキット	㈱岡山国際サーキット AC	国際	岡山国際
③	<u>7/7-9</u>	2017年全日本スーパーフォーミュラ選手権第3戦 富士スピードウェイ	富士スピードウェイ㈱ FISCO-C	国際	富士
④	8/18-20	2017年全日本スーパーフォーミュラ選手権第4戦 ツインリンクもてぎ2&4レース	㈱モビリティランド M.O.S.C.	国際	もてぎ
⑤	9/8-10	2017年全日本スーパーフォーミュラ選手権第5戦 オートポリス	APC ㈱オートポリス	国際	オートポリス
⑥	9/22-24	2017年全日本スーパーフォーミュラ選手権第6戦 スポーツランドSUGO	㈱菅生 SSC	国際	SUGO
⑦	<u>10/20-22</u>	2017年全日本スーパーフォーミュラ選手権第7戦 第16回JAF鈴鹿グランプリ	NRC SMSC ㈱モビリティランド	国際	鈴鹿

フォーミュラ3：

No	開催日	競技会の名称	オーガナイザー	格式	開催場所
①	3/31-4/2	2017年全日本フォーミュラ3選手権第1戦、第2戦、第3戦 スーパーF3レース in 岡山	㈱岡山国際サーキット AC	国内	岡山国際
②	<u>4/21-23</u>	2017年全日本スーパーフォーミュラ選手権第1戦 2017年全日本フォーミュラ3選手権第4戦&第5戦 鈴鹿サーキット	GSS SMSC ㈱モビリティランド	国内	鈴鹿
③	5/12-14	2017年全日本フォーミュラ3選手権第6戦&第7戦 2017富士チャンピオンレースシリーズ第2戦	富士スピードウェイ㈱ FISCO-C	国内	富士
④	5/26-28	2017年全日本スーパーフォーミュラ選手権第2戦 2017年全日本フォーミュラ3選手権第8戦&第9戦 岡山国際サーキット	㈱岡山国際サーキット AC	国内	岡山国際
⑤	6/23-25	2017年全日本フォーミュラ3選手権第10戦&第11戦 鈴鹿クラブマンレース Round4	GSS SMSC ㈱モビリティランド	国内	鈴鹿
⑥	<u>7/7-9</u>	2017年全日本スーパーフォーミュラ選手権第3戦 2017年全日本フォーミュラ3選手権第12戦&第13戦 富士スピードウェイ	富士スピードウェイ㈱ FISCO-C	国内	富士
⑦	7/28-30	2017年全日本フォーミュラ3選手権第14戦、第15戦、第16戦 もてぎチャンピオンカップレース第4戦	㈱モビリティランド M.O.S.C.	国内	もてぎ
⑧	9/8-10	2017年全日本スーパーフォーミュラ選手権第5戦 2017年全日本フォーミュラ3選手権第17戦&第18戦 オートポリス	APC ㈱オートポリス	国内	オートポリス
⑨	9/22-24	2017年全日本スーパーフォーミュラ選手権第6戦 2017年全日本フォーミュラ3選手権第19戦&第20戦 スポーツランドSUGO	㈱菅生 SSC	国内	SUGO

2017年全日本ラリー選手権統一規則の制定

[公示No.2017-009]

2017年全日本ラリー選手権統一規則を以下の通り定める。

第1章 大会告知

第1条 競技会特別事項

○競技会の定義および組織

2017年J A F全日本ラリー選手権第○戦「〔競技会の名称〕」は、一般社団法人日本自動車連盟（以下「J A F」という）の公認のもとにF I A国際モータースポーツ競技規則およびその付則に準拠した日本自動車連盟（J A F）の国内競技規則およびその付則、2017年日本ラリー選手権規定、2017年全日本ラリー選手権統一規則、ラリー競技開催規定および本競技会特別規則に従い国内競技として開催される。

○プログラム～○競技会本部（HQ）（略）

○コース概要

スペシャルステージ：〔舗装（アスファルト、ターマック等）
／未舗装（グラベル等）／積雪（氷結路面を含む）〕

総走行距離：○○○km（予定）

スペシャルステージの合計距離：○○○km（予定）

※スペシャルステージの数：

※セクションの数：

※デイの数：

〔※競技会までに変更が生じた場合は、公式通知にて訂正すること〕

○オーガナイザー～○レッキの実施方法（略）

○タイヤ

本競技会で使用できるタイヤの本数は、____本までとする。

〔※1. 舗装（アスファルト、ターマック等）スペシャルステージとして認定された競技会の場合、以下の条文を追記すること〕

（略）

〔※2. 未舗装（グラベル等）スペシャルステージとして認定された競技会の場合、以下の条文を追記すること〕

（略）

〔※3. 積雪（氷結路面を含む）スペシャルステージとして認定された競技会の場合、以下の条文を追記すること〕

と]

- ・スノータイヤ（「M+S」、「M・S」、「M&S」の表示があるタイヤ）を使用すること。
- 【※4. 競技会で使用できる最大本数の算出方法】
- ・舗装（アスファルト、ターマック等）スペシャルステージの距離が50km～100km未満の場合、8本（RPN車両およびAE車両は6本）とし、以降25km未満毎に2本追加（例：100km～125km未満、125km～150km未満）。
 - ・未舗装（グラベル等）スペシャルステージの距離が50km～100km未満の場合、12本（RPN車両およびAE車両は8本）とし、以降25km未満毎に2本追加（例：100km～125km未満、125km～150km未満）。
 - ・積雪（氷結路面を含む）スペシャルステージの距離が50km～100km未満の場合、8本（RPN車両およびAE車両

は6本）とし、以降25km未満毎に2本追加（例：100km～125km未満、125km～150km未満）。

【※5. 以下の条文を記載すること。】

- ・本競技会では、使用する全てのタイヤのサイドウォールに競技車両番号をマーキングする。併せてスペアタイヤについては、トレッド面にもマーキングを施すものとする。なお、当該競技会中における未使用のタイヤについては、技術委員長の許可を得ることにより、新たにマーキングされた他のタイヤへ交換が許される。

○セレモニアルスタート～○付則（略）

第2条～第23条（略）

以上

2017年JAF地方ラリー選手権のクラス区分および過給器付車両のエアリストリクターについて

[公示No.2017-010]

2017年日本ラリー選手権規定第12条および第13条に基づき、2017年JAF地方ラリー選手権クラス区分および過給器付車両のエアリストリクターについて、下記の通りお知らせします。

1 北海道ラリー選手権

1) クラス区分について：

RA-1クラス:気筒容積が1600cc以下のRPN車両。
RA-2クラス:気筒容積が1600ccを超えるRPN車両。
RA-3クラス:気筒容積が1500cc以下の2輪駆動車両およびAE車両。
RA-4クラス:気筒容積が3000cc以下の車両。
RA-5クラス:気筒容積が3000ccを超える車両。

※RPN車両は同一車両型式の最も古いJAF登録年が2006年1月1日以降の車両とする。

2) 過給器付車両のエアリストリクターについて：

RA-1クラス:
RA-2クラス:
RA-3クラス:エアリストリクターの装着は任意とする。
RA-4クラス:
RA-5クラス:エアリストリクターの装着を義務付ける。

※エアリストリクターのサイズは33mm（外径39mm未満）とする。

2 東日本ラリー選手権

1) クラス区分について：

BC-2クラス:気筒容積が1500cc以下の車両および気筒容積が1600cc以下のRPN車両。
BC-3クラス:気筒容積が1500ccを超え3000cc以下の車両および気筒容積が1600ccを超え3000cc以下のRPN車両。
BC-4クラス:気筒容積が3000ccを超える車両。

※AE車両はBC-2クラスに含む。

※RPN車両の年次制限は行わない。

2) 過給器付車両のエアリストリクターについて：

エアリストリクターの装着は任意とする。

3 中部・近畿ラリー選手権

1) クラス区分について：

DE-3クラス:気筒容積が1500cc以下のRN、RJ、RPN、RFまたはAE車両。
DE-4.5クラス:4輪駆動で、気筒容積が1500ccを超え2500cc以下のRN、RJ、RPNまたはRF車両。 2輪駆動で、気筒容積が1500ccを超えるRN、RJ、RPNまたはRF車両、RR車両。
DE-6クラス:4輪駆動で、気筒容積が2500ccを超えるRN、RJまたはRF車両。

※RPN車両の年次制限については、同一車両型式の最も古いJAF登録年が2007年1月1日以降の車両のみ参加が認められる。

2) 過給器付車両のエアリストリクターについて：

エアリストリクターの装着は任意とする。ただし、エアリストリクターを装着する場合、そのサイズは最大内径33mm(外径:39mm未満)とする。さらに、DE-6クラスにおいてエアリストリクターを装着しない場合は、エンジンコントロールユニット(ECU)の変更、改造を認めない。
--

4 中四国ラリー選手権

1) クラス区分について：

FG-1クラス:気筒容積区分なしのRPN車両および気筒容積区分なしのAE車両。
FG-2クラス:気筒容積が1500cc以下の車両。
FG-3クラス:気筒容積が1500ccを超え3000cc以下の車両。
FG-4クラス:気筒容積が3000ccを超える車両。

※RPN車両の年次制限は行わない。

2) 過給器付車両のエアリストリクターについて：

エアリストリクターの装着は任意とする。

5 九州ラリー選手権

1) クラス区分について：

RH-1クラス:気筒容積区分なしのATのラリー車両およびAE車両。
RH-2クラス:気筒容積が1586cc以下の2輪駆動のRPN車両。
RH-3クラス:気筒容積が1500cc以下のラリー車両。
RH-4クラス:気筒容積が1586ccを超える2輪駆動のRPN車両。
RH-5クラス:気筒容積が1500ccを超え3000cc以下のラリー車両。
RH-6クラス:気筒容積が3000ccを超えるラリー車両。

※RPN車両の年次制限は行わない。

※RH-2クラスに参加する車両の最低重量は、1501ccから1586ccの車両についてはラリー車両規定に定める最低重量に50kgを足した重量とする。1500cc以下の車両はラリー車両規定に定める最低重量とする。

2) 過給器付車両のエアリストリクターについて：

エアリストリクターの装着は任意とする（エアリストリクターを装着しない場合はエンジン、ECUはノーマルとする）。エアリストリクターを装着する場合は最大内径33mmとする。
--

以上

2017年JAF地方ジムカーナ選手権のクラス区分について

[公示No.2017-011]

2017年北海道ジムカーナ選手権 クラス区分：

部門	クラス	参加車両
PN部門	PN-1	気筒容積を制限しない前輪駆動（FF）および後輪駆動（FR）のPN車両及びAE車両 ※1
	PN-2	気筒容積及び駆動方式を制限しないPN-1以外のPN車両 ※1
N、S A、B部門	SH-1	2輪駆動のN、S A、B、S A X車両 ※2
	SH-2	4輪駆動のN、S A、B、S A X車両 ※2
SC部門	SC	クラス区分無し

※1の記号のあるクラスは、2014年日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第2章 第2条 2)を適用する。

※2の記号のあるクラスの内、下記タイヤを含め通称Sタイヤを使用する場合は、本年のJAF国内競技車両規則第3編スピード車両規定第4章スピードN車両規定第8条または第5章スピードS A車両規定第8条に従うこと。

タイヤ製造者	ブランド名	使用が認められないタイヤ銘柄
(株)ブリヂストン	POTENZA	520S・540S・55S・11S
住友ゴム工業(株)	DIREZZA	93J・98J・01J・02G・03G
横浜ゴム(株)	ADVAN	021・032・038・039・048・050
東洋ゴム工業(株)	PROXES	FM9R・08R・881・888
製造者問わず		海外タイヤ製造者製該当タイヤを含む(通称セムレーシングタイプタイヤ)等

2017年東北ジムカーナ選手権 クラス区分：

部門	クラス	参加車両
PN部門	PN 1	気筒容積1600cc以下の2輪駆動（FF、FR）のPN車両※1
	PN 2	気筒容積1600ccを超える2輪駆動（FF、FR）のPN車両※2
	PN 3	PN 1クラス、PN 2クラスに該当しないPN車両※2
N部門・S A部門	NSA-2WD	2輪駆動のN車両、S A車両 ※3
S A・S A X部門	S A 1	気筒容積1600cc以下の2輪駆動のS A・S A X車両
	S A 2	気筒容積1600ccを超える2輪駆動のS A・S A X車両
	S A 3	排気量制限なしの4輪駆動のS A・S A X車両
SC部門	区分なし	SC車両
A E部門	区分なし	A E車両 ※3

※1の記号のあるクラスは、2014年全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第2章 第2条 2)を適用する。

※2の記号のあるクラスは、2017年全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第2章 第2条 2)を適用する。

※3の記号のあるクラスは、下記タイヤの使用が認められない。

タイヤ製造者	ブランド名	使用が認められないタイヤ銘柄
ブリヂストン	POTENZA	520S・540S・55S・11S・05D
ダンロップ	DIREZZA	93J・98J・01J・02G・03G・β02
横浜ゴム	ADVAN	021・032・038・039・048・050・A052
東洋ゴム	PROXES	FM9R・08R・881・888・888R
製造者問わず		ラバータイヤ/海外タイヤ製造者製通称Sタイプ、縦溝のみのタイヤ等

2017年関東ジムカーナ選手権 クラス区分：

部門	クラス	参加車両
PN部門	クラス1	気筒容積1600cc以下の2輪駆動（FF・FR）のPN車両 ※1
	クラス2	気筒容積1600ccを超える2輪駆動（FF・FR）のPN車両 ※1
	クラス3	気筒容積1600ccを超える2輪駆動（FF・FR）のPN車両のうち、F I A / J A F 公認発行年またはJ A F 登録年が2012年1月1日以降の車両 ※1
	クラス4	クラス1～3に該当しないPN車両 ※1
N部門	クラス1	気筒容積区分無しの前輪駆動のN車両 ※2 ※3
	クラス2	気筒容積区分無しの後輪駆動のN車両 ※2 ※3
	クラス3	気筒容積区分無しの後輪駆動のN車両 ※2 ※3
S A / S A X部門	クラス1	気筒容積1600cc以下の前輪駆動のS A 車両およびS A X車両
	クラス2	気筒容積1600ccを超える前輪駆動のS A 車両およびS A X車両
	クラス3	気筒容積区分無しの後輪駆動のS A 車両およびS A X車両
	クラス4	気筒容積区分無しの後輪駆動のS A 車両およびS A X車両
SC/SD部門		気筒容積・駆動区分制限無し(クラス区分無し)のSC車両およびD車両
A E部門		気筒容積・駆動区分制限無し(クラス区分無し)のA E車両 ※1

※1の記号のあるクラスは、2017年全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第2章 第2条 2)を適用する。

※2の記号のあるクラスは、以下のタイヤ規制を適用する。

「(1) 1銘柄で単一コンパウンドかつ国内販売が30サイズ以上のラインナップを有すること。

(2) 上記(1)を満たしたタイヤで、かつタイヤ接地面にタイヤを1周する連続した複数の縦溝を有していること。

(3) 上記(2)の溝はトレッドウェアインジケータ(スリップサイン)が出るまで維持されていること。」

※3の記号のあるクラスは、2017年のみとし、N車両部門は2018年より廃止する。

2017年中部ジムカーナ選手権 クラス区分：

部門	クラス	参加車両
PN部門	クラス1	気筒容積1600cc以下の2輪駆動（FF、FR）のPN車両 ※1
	クラス2	気筒容積1600ccを超える2輪駆動（FF、FR）のPN車両 ※1
	クラス3	気筒容積1600ccを超える後輪駆動（FR）のPN車両の内、F I A / J A F 公認発行年またはJ A F 登録年が2012年1月1日以降の車両 ※1
	クラス4	クラス1、クラス2及びクラス3に該当しないPN車両 ※1
S A 部門	クラス1	気筒容積1600cc以下の2輪駆動のS A / S A X車両
	クラス2	気筒容積1600ccを超える前輪駆動のS A / S A X車両
	クラス3	気筒容積1600ccを超える後輪駆動のS A / S A X車両
	クラス4	4輪駆動のS A / S A X車両
B部門	区分なし	気筒容積1500cc以下の2輪駆動のB車両 ※2、※3
SC部門	区分なし	クラス区分なしのSC車両
D部門	区分なし	クラス区分なしのD車両

※1の記号のあるクラスは、2017年全日本ジムカーナ選手権統一規則（タイヤ規制）を適用する。

* 2の記号のあるクラスは、下記タイヤの使用が認められない。

タイヤ製造者	ブランド名	使用が認められないタイヤ銘柄
住友ゴム工業(株)	DIREZZA	93J・98J・01J・02G・03G
(株)ブリヂストン	POTENZA	520S・540S・55S・11S
東洋ゴム工業(株)	PROXES	FM9R・08R・881・888・RR
横浜ゴム(株)	ADVAN	021・032・038・039・048・050
Hankook Tire Co., Ltd	Ventus	Z214
Kumho Tire Co., Ltd	Ecsta	V710
製造者問わず		ラリータイヤ/海外タイヤ製造者製該当タイヤ(通称Sタイプ)等

- * 3の記号のあるクラスは、以下の制限が加えられる。
- ①排気量 : 1500cc以下の自然吸気エンジン (NAエンジン) とする。上記の排気量以下であればハイブリット車両での参加も認められる。
 - ②駆動方式 : 前輪2輪または後輪2輪のいずれかを駆動する二輪駆動車とする。
 - ③車両本体価格 : 250万円以下とする。
当該自動車製造者発行の量産車カタログの同一車両型式に記載される車両本体価格を基準とする。
 - ④最終減速比 : 変更は許されない。
 - ⑤フライホイール : 変更は許されない。
 - ⑥エアコン : 装着およびその機能を維持していること。
 - ⑦タイヤ : セミレーシングタイヤの使用を禁止する。
競技に使用できるタイヤ幅は195mmまでとする。(競技会場内)
 - ⑧参加制限 : 自動車検査証の初度登録年月より7年経過した車両は参加できない。
- ※本規定に疑義が生じた場合、JMRC中部ジムカーナ部会の決定を最終とする。

2017年近畿ジムカーナ選手権 クラス区分：

部門	クラス	参加車両
PN部門	PN 1	気筒容積1600cc以下の2輪駆動(F・F・FR)のPN制限付車両※
	PN 2	2輪駆動(F・F・FR)のPN制限付車両※
	PN 3	PN制限付車両※
S部門	S 1	2輪駆動のN車両、気筒容積1600cc以下の2輪駆動のSA・SAX・SC車両
	S 2	2輪駆動のSA・SAX・SC車両
	S 3	4輪駆動のSA・SAX・SC車両
B部門	B 1	気筒容積1500cc以下のB車両
	B 2	前輪駆動のB制限付車両※
	B 3	後輪駆動のB制限付車両※
	B 4	4輪駆動のB制限付車両※
AE部門	AE	気筒容積を制限しないAE制限付車両※

※の記号のあるクラスは、以下のタイヤの使用を禁止する。

タイヤメーカー	ブランド名	使用不可タイヤ名称
住友ゴム工業(株)	DIREZZA	93J・98J・01J・02G・03G
ブリヂストン	POTENZA	520S・540S・55S・11S
東洋ゴム	PROXES	FM9R・08R・881・888・R888R
横浜ゴム	ADVAN	021・032・038・039・048・050
メーカー問わず		ラリータイヤ、海外タイヤメーカー製通称Sタイプ、縦溝のみのタイヤ等

2017年中国ジムカーナ選手権 クラス区分：

部門	クラス	参加車両
PN部門	PN 1	気筒容積1600cc以下の2輪駆動 (FF、FR) のPN車両 ☆
	PN 2+	気筒容積1600ccを超える2輪駆動 (FF、FR) のPN車両および気筒容積2000cc以下の後輪駆動 (FR) のN車両 ☆ ただし、N車両はJAF登録車両であり、同一車両型式の最も古いJAF登録年が2003年の1月1日以降の車両で、国内競技車両規則第3編スピード車両規定第4章 第5条5.3) は適用しない(最終減速比の変更不可)
	PN 4	PN 1クラス、PN 2+クラスに該当しないPN車両 ☆
SA部門	SA 2	気筒容積1000cc以下のN車両、気筒容積1000ccを超える2輪駆動のN車両、気筒容積1600cc以下のSA車両および、1600ccを超える2輪駆動のSA車両
	SA 4	気筒容積1000ccを超える4輪駆動のN車両、気筒容積1600ccを超える4輪駆動のSA車両
CDX部門	CDX	気筒容積区分なしのSAX車両、SC車両およびD車両
BR部門	BR K	軽自動車のB車両およびAE車両 ★
	BR 2	気筒容積区分なしの2輪駆動のB車両およびAE車両 ★
	BR 4	気筒容積区分なしの4輪駆動のB車両およびAE車両 ★

- ★記号のあるクラスが使用できるタイヤは同銘柄 (パターン) に以下の条件を満たした、一般に市販されているタイヤでなければならぬ。
- 1) ラインナップされたタイヤサイズが20種類以上
 - 2) 日本自動車タイヤ協会 (JATMA) の定めるJATMAラベリング規格における転がり抵抗C以上、ウェットグリップd以上、もしくは欧州のグレーディング規格における転がり抵抗F以上、ウェットグリップE以上
- ※使用するタイヤサイズが2)の条件を満たしていなくてもサイズラインナップに2)を満たしたサイズが一つでもあれば使用できる。
※上記条件を満たさないタイヤを使用する場合はその本数に関わらず、当該ヒートの走行タイムに2秒を加算する。

☆の記号のあるクラスは、2014年全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第2章 第2条 2)を適用する。

2017年四国ジムカーナ選手権 クラス区分：

部門	クラス	参加車両
PN部門		2輪駆動のPN車両 気筒容積2000cc以下の後輪駆動のN車両 (JAF登録車両且つ同一車両型式の最も古いJAF登録年が2003年1月1日以降の車両)
	クラス1	2輪駆動のN、SA、SAX、SC、AE車両
NS部門	クラス2	4輪駆動のN、SA、SAX、SC、AE車両 クラス区分なしのD車両
	クラス1	気筒容積1150cc以下の後輪駆動のB車両 気筒容積1500cc以下の前輪駆動および4輪駆動のB車両
R部門	クラス2	気筒容積1500ccを超える前輪駆動のB車両
	クラス3	気筒容積1150ccを超える後輪駆動のB車両
	クラス4	気筒容積1500ccを超える4輪駆動のB車両 4輪駆動のPN車両

※PN部門・R部門については、下記に該当するタイヤの使用を禁止する。

住友ゴム工業(株)	DIREZZA	93J・98J・01J・02G・03G
(株)ブリヂストン	POTENZA	520S・540S・55S・11S
東洋ゴム工業(株)	PROXES	FM9R・08R・881・888
横浜ゴム(株)	ADVAN	021・032・038・039・048・050
海外タイヤ製造者製を含む通称Sタイプと判断される物 縦溝のみのタイヤ		

2017年九州ジムカーナ選手権 クラス区分：

部門	クラス	参加車両
PN部門	PN-1	1600cc以下の2輪駆動(FF・FR)のPN車両及びA E車両
	PN-2	1600ccを超える2輪駆動(FF・FR)のPN車両およびA E車両
	PN-3	4輪駆動のPN車両及びA E車両
SA部門	SA-1	全ての2輪駆動のN車両・SA車両・SAX車両
	SA-2	全ての4輪駆動のN車両・SA車両・SAX車両
SC部門	SC	全てのSC車両
B部門	B-1	全ての軽4輪のB車両

* PN部門のタイヤは2017年全日本統一規則の参加車両規則に準ずる。
 * SA部門のタイヤは2017年スピード車両規則第3編に準ずる。(通称Sタイヤの使用可)

* B部門は、下記タイヤの使用が認められない。

(株)ブリヂストン	520S・540S・55S・11S・11A・2.0/4.0
住友ゴム工業(株)	93J・98J・01J・02G・03G・ZII-β・α
横浜ゴム(株)	021・032・038・039・048・050・A・08B
東洋ゴム工業(株)	FM9R・08R・881・888
グッドイヤー(株)	RSsport・86S・R2・R3・R4・Vspec

海外タイヤ製造者製を含む通称Sタイヤ及び縦溝のみのタイヤ

但し、上記タイヤがJATMAラベリング認定された場合は使用禁止タイヤから除く。
 シリズ期間内でも、これに準ずると判断されたタイヤは使用不可になる場合があります。

2017年JAF地方サーキットトライアル選手権のクラス区分について

[公示No.2017-012]

筑波サーキットトライアル選手権：

部門	クラス	参加車両
B部門	B 1	気筒容積1500cc以下のB車両* 1、* 2
	B 2	気筒容積1500ccを超え2000cc以下のB車両* 1、* 2
	B 3	気筒容積2000ccを超えるB車両* 1、* 2
A E部門	A E	A E車両* 1

* 1の記号のあるクラスは、使用するタイヤを(株)ブリヂストン、住友ゴム工業(株)、横浜ゴム(株)のいずれかが製造するスポーツラジアルとするが、当該製造者であっても下表のタイヤの使用は認められない。

タイヤ製造者	ブランド名	使用が認められないタイヤ
(株)ブリヂストン	POTENZA	520S・540S・55S・11S
住友ゴム工業(株)	DIREZZA	93J・98J・01J・02G・03G
横浜ゴム(株)	ADVAN	021・032・038・039・048・050

* 2の記号のあるクラスは、最低重量を当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧上の車両重量から50kg減量された値とする。また、過給器付エンジンはもとの排気量の1.7倍の排気量クラスとみなし、ロータリーエンジンはもとの排気量の1.5倍の排気量クラスとみなす。

2017年JAF地方ダートトライアル選手権のクラス区分について

[公示No.2017-013]

2017年北海道ダートトライアル選手権 クラス区分：

部門	クラス	参加車両
PN、N、SA、SAX、B、SC、AE部門	FF-1	気筒容積1500cc以下の2輪駆動のN、SA、SAX、B、SC車両及び、気筒容積1600cc以下の2輪駆動のPN車両および全てのA E車両で、2000年(平成12年)10月以降に初度登録された車両であること
	FF-2/4WD-1	FF-1クラスに該当しない2輪駆動のPN、N、SA、SAX、B、SC車両、および気筒容積1600cc以下の4輪駆動のN、SA、SAX、B、SC車両
	RWD	排気量区分なしの後輪駆動のPN、N、SA、SAX、B、SC車両
	4WD-2	気筒容積1600ccを超える4輪駆動のN、SA、SAX、SC車両

2017年関東ダートトライアル選手権 クラス区分：

部門	クラス	参加車両
N1500&PN1部門	N1500 &PN1	気筒容積1500cc以下の2輪駆動のN車両で排ガス規制平成12年規制以降の適合車両、および気筒容積1600cc以下の2輪駆動のPN車両とし、A E車両を含む。
PN2部門	PN 2	気筒容積1600ccを超える2輪駆動のPN車両のうち、FIA/JAF公認発行年またはJAF登録年が2012年1月1日以降の車両とする。
N部門	N 1	2輪駆動のN車両および気筒容積1600cc以下の4輪駆動のN車両
	N 2	気筒容積1600ccを超える4輪駆動のN車両
S部門	S 1	2輪駆動のSA、SAX、SC車両
	S 2	4輪駆動のSA、SAX、SC車両
D部門	区分なし	排気量および駆動方式による区分なしのD車両

2017年東北ダートトライアル選手権 クラス区分：

部門	クラス	参加車両
AE、PN、N/SA/SAX1500部門	AE・PN・N/SA/SAX1500	A E車両・PN車両・1500cc以下の2輪駆動のN/SA/SAX車両
N部門	N 1	2輪駆動のN車両と1600cc以下の4輪駆動のN車両
	N 2	1600ccを超える4輪駆動のN車両
S部門(SA、SAX、SC)	S 1	2輪駆動のSA/SAX/SC車両
	S 2	4輪駆動のSA/SAX/SC車両
D部門		排気量区分なしのD車両

2017年中部ダートトライアル選手権 クラス区分：

部門	クラス	参加車両
RWD部門	RWD	排気量区分なしの後輪駆動のPN、N、SA、SAX、B、SC、D車両
PN・S1500部門	PN・S1500	気筒容積1500cc以下の2輪駆動のB車両(車両規定は、スーパー1500車両規定で運用する)、気筒容積1600cc以下の2輪駆動のPN車両および全てのAE車両 ※1
N部門	N1	排気量によるクラス区分なしの2輪駆動のN車両
	N2	気筒容積1600ccを超える4輪駆動のN車両
S部門	S1	排気量によるクラス区分なしの2輪駆動のSA、SAX、SC車両
	S2	気筒容積1600cc以下の4輪駆動のN車両および気筒容積3000cc以下の4輪駆動のSA、SAX、SC車両
	S3	気筒容積3000ccを超える4輪駆動のSA、SAX、SC車両およびD車両

- ※1の記号のあるクラスの内、B車両は以下の制限が加えられる。
- ・参加が許される車両は、気筒容積1500cc以下の自然吸気エンジンの車両および気筒容積1500cc以下の自然吸気エンジンを搭載したハイブリッド車両とする。
 - ・駆動方式は、前輪2輪または後輪2輪のいずれかを駆動する2輪駆動車とする。
 - ・当該自動車製造者発行の量産車カタログの同一車両型式に記載される車両本体価格を基準とし、180万円(ハイブリッド車は250万円)以下の車両とする。
 - ・最終減速比の変更は許されない。
 - ・フライホイールの変更は許されない。
 - ・エアコンは装着されていなければならない、その機能を維持していること。
 - ・自動車検査証の初度登録年月が平成12年1月以降の車両であること。

マフラーについて、保安基準適合品への変更を認めるが、如何なる場合においても排気ガス規制値を厳守しなければならない、経年変化・変形の為、音量規制値を上回することは許されない。

尚、主催者は必要に応じ、特別規則書にてメーカー純正品に規制する場合があります。参加者は、使用するマフラーについて主催者が求めた場合、保安基準適合品であることを証明できるように必要な処理類を完備すること。

2017年近畿ダートトライアル選手権 クラス区分：

部門	クラス	参加車両
AE・PN部門		排気量区分なしの、全てのAE車両及び前輪駆動のPN車両
N部門	クラス1	排気量区分なしの2輪駆動のN車両
	クラス2	1600cc以下の4輪駆動のN車両
RWD部門	RWDクラス	排気量区分なしの後輪駆動のPN、N、SA、SAX、B、SC車両
S部門	クラス1	排気量区分なしの2輪駆動のSA、SAX、SC車両
	クラス2	1600cc超の4輪駆動のN車両及び排気量区分なしの4輪駆動のSA、SAX、SC車両
D部門		クラス区分なし、排気量区分なしの全てのD車両

2017年中国ダートトライアル選手権 クラス区分：

部門	クラス	参加車両
PN部門	PN-1	気筒容積1600cc以下の2輪駆動のPN車両
RWD部門	RWD	排気量区分なしの後輪駆動のPN、N、SA、SAX、SC、D車両
N部門	N-1	2輪駆動のN車両
NS部門	NS-1	4輪駆動のN及びSA及びSAX車両
SA部門	SA-1	2輪駆動のSA及びSAX車両
SCD部門	SCD-1	2輪駆動のSC車両及びD車両
	SCD-2	4輪駆動のSC車両及びD車両
AE部門	AE	すべてのAE車両

2017年四国ダートトライアル選手権 クラス区分：

部門	クラス	参加車両
N部門	クラス1	2輪駆動のPN車両及びN車両 気筒容積1600cc以下の4輪駆動のPN車両及びN車両
	クラス2	気筒容積1600ccを超える4輪駆動のPN車両及びN車両
SD部門	クラス1	2輪駆動のSA車両、SAX車両及びSC車両
	クラス2	4輪駆動のSA車両、SAX車両及びSC車両 駆動方式区分なしのD車両

2017年九州ダートトライアル選手権 クラス区分：

部門	クラス	参加車両
N部門	N1	2輪駆動のN車両および1600cc以下の4輪駆動のN車両
	N2	1600ccを超える4輪駆動のN車両
S部門	FR	後輪駆動のPN、N、SA、SAX、B、SC車両
	S1	1586cc以下の2輪駆動のPN、N、SA、SAX、AE車両
	S2	1586ccを超える2輪駆動のSA、SAX車両、および排気量区分なしの2輪駆動のB、SC車両
	S3	4輪駆動のSA、SAX車両
C部門	区分なし	排気量および駆動方式区分なしのSAX、B、SC車両
D部門	区分なし	排気量および駆動方式区分なしのD車両

JAF登録車両(車両型式別)カタログ記載重量・タイヤ一覧

[公示No.2017-014]

2017年「JAF登録車両(車両型式別)カタログ記載重量・タイヤ一覧」は、JAFホームページで公開中です。本誌では4月号(3月中旬発行)に掲載いたします。

JAFモータースポーツホームページ
<http://jaf-sports.jp/>
 トップページ、中ほどの「INFORMATION」をご覧ください。

オートテストオーガナイザーガイドライン(Ver.3)の公開について

[公示No.2017-015]

2016年11月25日発行のJAFモータースポーツニュース No.290「オートテストオーガナイザーガイドライン改正について」をJAFホームページで公開中です。本誌では4月号(3月中旬発行)に掲載いたします。

JAFモータースポーツホームページ
<http://jaf-sports.jp/>
 トップページ、中ほどの「INFORMATION」をご覧ください。

登録車両一覧

[公示No.2017-016]

会社名	JAF登録No.	車両名	型式	原動機の型式	排気量(cc)又は定格出力(kW)	国土交通省指定番号	備考
マツダ(株)	JY-157	マツダ ロードスターRF	NDERC	PE-VPR[RS]	1997	18450	6AT/6MT両方含む

上記は2016年12月7日付で承認されました。2016年12月22日より有効です

海外競技会出場証明書(サーティフィケート)発行件数一覧と申請方法

[公示No.2017-017]

国際モータースポーツ競技規則第2条2)、第2条3)、第3条9)、およびJAFスポーツ資格登録規定第7条2に基づき、JAFが「海外競技会出場証明書(サーティフィケート)」を発行した件数です。

2016年11月発行分

競技会開催日	競技会名	開催場所	発行数
数次用			
11月4日~11月5日	Audi R8 LMS Cup 2016	Shanghai International Circuit, CHINA	1
11月17日~11月19日	MRF Challenge 2016	Bahrain International Circuit, BAHRAIN	1
12月1日~12月4日	Lamborghini Super Trofeo World Final	Ricardo Tormo, Valencia, ESPANIA	2
12月3日~12月5日	2016 APRC - Coffee Day India Rally 2016 -	Chikmagalur, INDIA	2
12月3日~12月4日	AAM Malaysian Rally Championship Round 4	MALAYSIA	5
12月4日	Rotax Max Challenge Thailand 2016	Bira Kart, Chonburi, THAILAND	1
12月6日~12月11日	Sepang 12 Hours 2016	Sepang International Circuit, MALAYSIA	7
12月8日~12月10日	MRF Challenge 2016	Dubai Autodrome, UAE	1
1月2日~1月14日	39th Dakar Marathon Cross-Country Rally - Dakar Paraguay - Bolivia - Argentina -	PARAGUAY, BOLIVIA, ARGENTINA	5
3月4日~3月5日	Valencia Ricardo Tormo Day 2017	Ricardo Tormo, Valencia, ESPANIA	1

●海外競技会出場証明書(サーティフィケート)申請について

海外競技会出場証明書(サーティフィケート)は、JAF発行のライセンスを所持する方が、海外で開催されるASN公認の四輪またはカートの競技に参加・出場する際、競技会の格式が国際または国内を問わず必要な証明書です。

ただし、国内カートライセンスでは、海外のカート競技に参加・出場することはできません。

出発日の2週間前までに所定の申請書に記入のうえ、申請料を添えてJAF支部に申請してください。

所定の申請書はJAF窓口で入手するか、JAFホームページ(<http://www.jaf.or.jp/>)→モータースポーツ→データ室→各種申請書等→海外競技会出場証明書申請書)からダウンロードすることができます。

1回用:1競技会限定のサーティフィケートです。
数次用:当該年度中、複数の競技会に有効なサーティフィケートです。
3競技会以上出場のご予定があればこちらをお薦めします。

【申請受付】

JAF地方本部・支部で受付しています。持参または郵送(現金書留)にてご申請ください。

【必要書類】

競技運転者(コドライバー含む)用	参加者用
<ul style="list-style-type: none"> 海外競技会出場に関する証明申請書 写真(3cm×3cm、無帽、無背景) ※髪などで顔が隠れていないもの 申請料 1回用 ¥8,300(税込) 数次用 ¥24,100(税込) 	<ul style="list-style-type: none"> 海外競技会出場に関する証明申請書 申請料 1回用 ¥8,300(税込) 数次用 ¥24,100(税込)

お問い合わせ先 (JAF地方本部モータースポーツ窓口)

北海道本部 ☎ 011-857-7155	関西本部 ☎ 072-645-1300
東北本部 ☎ 022-783-2826	中国本部 ☎ 082-272-9967
関東本部 ☎ 03-6833-9140	四国本部 ☎ 087-867-8411
中部本部 ☎ 052-872-3685	九州本部 ☎ 092-841-7731

Aライセンス講習会 日程

[公示No.2017-018]

開催日	時間	開催場所	申込先	TEL	主任講師	受講料 上段: B所持者 下段: B非所持者	教材費
2月8日	8:00~17:00	筑波サーキット 茨城県下妻市村岡	チームマグナスオートクラブ (TMAC)	03-3611-6687	稲村 政幸	¥19,000/ ¥23,000	実費
2月12日	9:00~16:30	筑波サーキット 茨城県下妻市村岡	チームクレーパーレーシング (CLEVER)	03-3766-3312	平塚 由紀人	¥20,000/ ¥24,000	実費
3月4日	8:00~17:00	筑波サーキット 茨城県下妻市村岡	チームマグナスオートクラブ (TMAC)	03-3611-6687	稲村 政幸	¥20,000/ ¥24,000	実費
3月20日	9:00~16:30	筑波サーキット 茨城県下妻市村岡	チームクレーパーレーシング (CLEVER)	03-3766-3312	平塚 由紀人	¥20,000/ ¥24,000	実費
3月26日	9:00~16:00	袖ヶ浦フォレストレースウェイ 千葉県袖ヶ浦市林	ジャラックレーシングクラブ (JARAC・RC)	043-266-3703	北原 豪彦	¥17,000	実費
4月8日	9:40~17:00	富士スピードウェイ 静岡県駿東郡小山町	ソニックレーシング (RT.SONIC)	055-967-8878	栗田 吉晴	詳細は主催者にお問合わせ下さい。	実費

公認審判員講習会日程

[公示No.2017-019]

開催日	時間	開催場所	種別	申込先	主任講師	受講料(1科目)	教材費
2月19日	9:00~18:00	スポーツランドSUGO 宮城県柴田郡村田町	コース・計時・技術 A1/A2/B1/B2	〒989-1301宮城県柴田郡村田町菅生6-1 菅生スポーツクラブ(SSC)0224-83-3111	大谷 保志	¥12,000	実費

※2科目以降の受講料は、1件につき¥4,100が加算されます。